

ふるさと 見て歩き

第80回

水戸三十三観音札所 浄土寺

「水戸三十三観音札所」と呼ばれる札所巡りをご存知でしょうか。

札所巡りは江戸時代に庶民の間で流行し、四国八十八カ所や西国三十三番札所、坂東三十三番札所などを一番から巡礼することが娯楽として発達しました。

しかし、四国や西国巡礼は遠方のため、行くことができるのは限られた人々だけでした。このため、身近な仏閣を巡礼地として編成し、巡ることが行われるようになりました。

水戸三十三観音札所は、馬頭（栃木県那珂川町）を含む水戸藩領の寺院が選定されています。現在ではこのうち半分以上の19カ寺が廃寺になってしまいました。

▼水戸三十三観音札所一覧

	名 称	地 域
一番	笠原山東光院神崎寺	水戸市
二番	龍虎山密蔵院光明寺	ひたちなか市
三番	正法山観音寺福寿院	水戸市
四番	西月山東照院清巖寺	水戸市
五番	三王山浄光院普岸寺	茨城町
六番	龍谿山西楽院如意輪寺	茨城町
七番	高岡山千手院正法寺	茨城町
八番	観音寺	水戸市
九番	経田山等覚院光明寺	ひたちなか市
十番	法幢山鏡福院如意輪寺	東海村
十一番	妙福山明音院佐竹寺	常陸太田市
十二番	大平山普門院長谷寺	常陸太田市
十三番	松倉山大聖院清水寺	常陸太田市
十四番	瀑布山玉簾寺	日立市
十五番	清滝山源勝寿院観泉寺	日立市
十六番	法徳山長楽院宝幢寺	日立市
十七番	万徳山遍智院大高寺	高萩市
十八番	妙林山尊法院能仁寺	高萩市
十九番	千手院	北茨城市
二十番	燈明山西明寺千手院	北茨城市
二十一番	十殿山不動院台山寺	高萩市
二十二番	地藏院	常陸太田市
二十三番	西金砂山観音院定源寺	常陸太田市
二十四番	長福山三光院	大子町
二十五番	臥雲山永源寺	大子町
二十六番	明照山普賢院南辺寺	大子町
二十七番	千手院中務山観音寺	大子町
二十八番	小平山自在院慶福寺	大子町
二十九番	慈音山帝釈寺東泉院	那珂川町
三十番	武茂山十輪寺馬頭院	那珂川町
三十一番	芦俣山千手院浄土寺	常陸大宮市
三十二番	円通山慈眼寺	常陸大宮市
三十三番	岩谷山仏国寺清浄院	城里町

山椒の会編『水戸三十三観音札所』筑波書林 1994 より作成

常陸大宮市域には三十一番の浄土寺と三十二番の慈眼寺がありました。



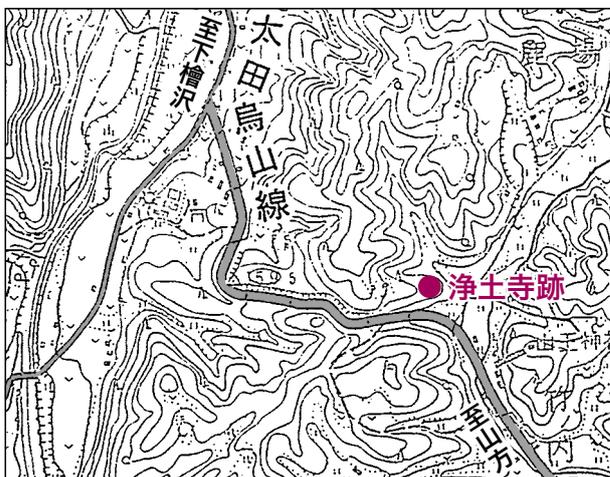
▲浄土寺跡現況

浄土寺のあった長沢村は、久慈川の支流の枇杷川沿いに集落が点在し、東は常陸太田、西は那須地域を結ぶ東西道の途次に位置していました。この県道は「烏山町より平潟街道」と呼ばれていたそうです（『山方町誌』下巻）。

水戸藩が編さんした『開基帳』（寛文3年・1663）によれば、上利員村（現常陸太田市）鏡徳寺の末寺で、十石六斗九升八合余りの石高を有していました。いつ開かれたかは不明ですが、天文13年（1544）に僧俊容が中興し、その後、天保期の寺院整理で廃寺になったと考えられます。

浄土寺は、檜沢へ向かう長沢峠の上りの途中、現在は竹やぶになっている広場がその跡と考えられます（地図参照）。馬頭観音など4基の石塔と墓塔群が見られます。そのうちの一つには「当國三十一番／千手観音」、御詠歌「心して三十一文字唱えれば菩薩の納受疑いもなし」と刻まれ、ここが三十一番札所であったことがわかります（現在は竹やぶのため確認が困難です）。三十三観音巡りでにぎわった時代があったのでしょうか。次号は、三美の慈眼寺についてご紹介します。

▼浄土寺の位置 (1:25000)



歴史民俗資料館大宮館 ☎52-1450